

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	22-023	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Differential impact of minimum unit pricing on alcohol consumption between Scottish men and women: controlled interrupted time series analysis 最低単価設定がスコットランド人男女のアルコール消費量に与える影響の違い：中断時系列比較分析		
<b>執筆者</b>		
Rehm J, O'Donnell A, Kaner EFS, Jane Llopis E, Manthey J, Anderson P.		
<b>掲載誌</b>		
BMJ Open. 2022 Jul 18;12(7):e054161. doi: 10.1136/bmjopen-2021-054161.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
最低単価設定 (MUP)、スコットランド、中断時系列デザイン、剥奪	35851006	
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>スコットランドにおける最低単価設定 (MUP) の導入がアルコール消費に及ぼす直接的な影響、およびその影響が対象者背景によって異なるかどうかを評価した。</p> <p><b>方法：</b>2015-2018 年に後ろ向きオンラインタイムラインフォローバック調査である Kantar Worldpanel Alcovision Survey に参加したイングランドおよびスコットランドに居住する計 106,490 人男女(18 歳以上、男 53,143 人)を対象とした。主要アウトカムは、週あたりのアルコール消費量 (g) とし、オフトレード (例：自宅) およびオントレード (例：パブ、レストラン) で各々評価した。介入は 2018 年 5 月 1 日に導入されたスコットランドでの MUP (6.25 ペンス/g)、対照はイングランド (および感度分析として北部イングランド) とし、中断時系列分析および前後分析を行った。剥奪指標は、居住する郵便番号よりランク付けを行った。</p> <p><b>結果：</b>中断時系列分析の結果、MUP の導入により週あたり総アルコール消費量 <math>-5.94</math> g (95% CI: <math>-10.60</math> to <math>-1.29</math>)、オフトレード消費量 <math>-3.27</math> g (95% CI: <math>-6.56</math> to <math>+0.01</math>)、オントレード消費量の <math>-2.67</math> g (95% CI: <math>-6.82</math> to <math>-1.48</math>) と関連した。MUP に関連する飲酒量減少は、男性より女性で大きく、飲酒量が少ない人より多い人で大きかった。一方、飲酒量上位 5% に属する男性では、MUP に関連する飲酒量の増加がみられた。前後分析の結果では、飲酒量の減少は、年齢が高いほど、また、より剥奪指標が高い (貧困な) 地域に住んでいる人ほど大きかった。感度分析でも同様の結果が得られた。</p> <p><b>結論：</b>MUP 導入によりアルコール消費量は減少した。年齢、性別、飲酒量、社会経済的状況などに応じた政策的配慮が必要であることが示唆された。</p>		